

旭川高専が学生と次世代半導体関連企業との「半導体ワークショップ・交流会」を国内で初めて開催

旭川高専は12月15日、世界の最先端領域で活躍する次世代半導体関連企業のエンジニアを招き、旭川高専の学生等と次世代半導体関連企業との「半導体ワークショップ・交流会」を北海道半導体人材育成等推進協議会主催「実務家教員派遣プログラム」の一環として、経済産業省北海道経済産業局との共催により開催しました。

本事業は、1年生を対象とした半導体ワークショップ、高学年の学生を対象とした交流会からなる国内初の試みで、半導体業界とその周辺産業に対する学生の興味・関心の向上を目的に行われました。学生達は、参加いただいたアプライド マテリアルズ ジャパン(株)、エーエスエムエル・ジャパン(株)、Rapidus(株)、ラムリサーチ(同)で活躍するエンジニアから半導体産業や各社の技術等について説明を受けたり、将来のために今学ぶべきことを尋ねたりして交流を深めました。

参加した学生からは、「最先端の技術を知るために電気やプログラミングを学ぶ重要性が分かった」「今後高専でどのように学んでいきたいかという指針にしたい」等の感想が聞かれ、半導体業界に対する興味・関心の向上のみならず、学生が高専で学ぶことの意義を再確認し、その意欲を向上させるという有意義な成果をもたらしました。



<1年生対象ワークショップの様子>



<高学年対象の交流会の様子>